

きまつし みまつし
本社工場
子どもも大人も

ここに3日分の用紙が…

第一学院高生、工程知る



巨大なロール紙の保管庫を見学する生徒ら
＝金沢市北安江の北陸中日新聞幸工場で

第一学院高等学校金沢キャンパス（金沢市堀川新町）の三年生十四人が二十一日、金沢市北安江の北陸中日新聞幸工場を訪れ、新聞製作の流れを学んだ。生徒らは紙面データを受け取る機械から、新聞を印刷する回転機、発送場などを見学し、完成したばかりのこの日の夕刊を受け取った。巨大なロール紙の保管

庫も訪れ、担当者から「三日分の用紙を保管している」などと説明を受けた。本紙の松坂浩一郎NIEコーディネーターによる講座もあった。朝刊には記事約三百本と写真約九十枚が使われていることや、見出しの付け方などを教わった。

藤江勇羽さん（も）は「新聞が大勢の人と多くの工程を経て作られていると知り、感動した」と話した。内田健太さん（も）は「多くの工程が自動化されていて興味深い」と驚いていた。二十二日も同校二年生が見学する。（古谷祥子）